

SYMPHONY



119号 令和3年9月1日
社会福祉法人 七恵会
第三長上苑 発行

コロナウイルス対策について

新型コロナウイルス感染症は、東京都をはじめ首都圏を中心に全国で感染が拡大しています。浜松市におきましても、連日過去最多となる新規感染者が報告されています。また、8月20日から9月12日までの間、静岡県にも緊急事態宣言が発出されるに至りました。感染拡大はいまだ予断を許さない状況が続いています。

そのため当施設では、入居者の皆様とご家族の皆様とに面会制限をお願いし、オンライン面会と窓越し面会を行なってまいりましたが、当面、窓越し面会においては県外の方においでいただくことは、お断りさせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。面会制限につきまして制限の解除等変更があれば、遅滞なくご連絡させていただきます。

これからも感染予防対策に取り組み、施設内で感染者を出さないようにしてまいりますので、ご家族の皆様にはご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

施設長 水谷秀夫

秋山先生に講義を依頼して

認知症ケア向上委員会では、認知症への理解を深め、入居者様へのケア向上を目的とした委員会活動に取り組んでいます。認知症の症状から不安になった時に対応をうまく考えることができず、入居者様に向き合うのではなく、職員都合の考えになってしまうとの課題がありました。

そこで尊厳を守るケア、入居者様の目線での対応とはいったいどういうことなのか理解し、現場で対応ができるようになってもらいたいと考え、7月19日（月）の委員会に聖隷クリストファー大学の秋山恵美子先生に講義をお願いしました。

先生にはお忙しいなかおいでいただき、予定していた時間をオーバーするほど熱心に講義を行なってくださいました。講義は「認知症の高齢者を知る」をテーマに進められ、認知症の方の行動が「なぜ」起きたのか、アセスメント（情報収集）からその原因・背景を理解しケアにつなげていくためにはどうしたらよいかを教えていただくことができました。

出席した職員からは、「認知症の方の気持ちを考える機会になり、入居者様の目線で考えることの重要性を再認識した。」「常に不適切なケアにならないためにはどうすべきか考えるということの大切さを学んだ。その意識を持つことをこれからのケアに活かしていきたい。」など意欲的な感想を聞くことができました。

今回の講義で職員が、改めて介護職員としての専門性と仕事の奥深さに気づくことになったと思います。認知症ケア向上委員会では、今後も実際のケアに活かせるテーマでタイムリーな委員会活動を行なってまいります。

認知症ケア向上委員会 中川宗磨

介護用リフトの講習



ベッドで吊り具を装着



いよいよリフトアップ



車いすへ移乗完了

8月10日（火）には、講師を招き介護用リフトの講習会を開催いたしました。介護の現場では、職員が腰を痛めることも少なくありません。当施設でも腰に不安を抱えている職員もいます。

法人として職員に長く働いてもらえることを念頭に、介護ロボット等を導入し、体に負担をかけない介護をめざして取り組んでいます。

「力がいらぬから楽だね。」「人の力に頼る介護はもう古いね。」など職員にも好評でした。

職員への負担だけでなく、入居者の皆様にも負担をかけることのない介護を行なってまいります。機械を導入しても、人の心を大切にしたい介護を続けてまいります。

第三長上苑 TEL 053-411-1133

◎看護師より

10月6日（水）、嘱託医による全入居者様対象の定期健康診断を行ないました。結果は、後日郵送させていただきますので、ご確認ください。ご不明な点等ございましたら、お気軽に施設までお尋ねください。よろしくお願いいたします。

◎相談係より

加算見直しによるご利用料金が改定されます。先月送付いたしました案内の内容をご確認いただき、同意欄へご署名、ご捺印をしていただき、施設への提出をお願いいたします。

すでに提出していただいたご家族様は、行き違いにつき何卒ご容赦ください。

9月の行事食 敬老祝い膳

9月13日（月）は、昼食に「松花堂弁当」とおやつには「紅白まんじゅう」を提供いたします。

昭和の初め、「吉兆」の創業者が、大阪の茶室「松花堂」で開かれた茶会に茶懐石の弁当を作るよう命じられそれが評判となって広まりました。

十字に仕切ることで、見た目の美しさだけでなく、味や匂いが他へ移らないようになっています。器の謂れは江戸時代までさかのぼるようです。

入居者様のご長寿とご多幸をお祈りして、一品一品心を込めて提供させていただきます。いつもとは違う折り詰め風のお食事をお楽しみいただきます。



7月23日（金）に万全な感染対策のもと恒例の「スイカ割り」を行ないました。

見かけと違いスイカは硬くなかなか割ることができません。真ん中に当たっても「あれ、まだ割れないの?」「おかしいねえ、もう割れてもいい頃だよ。」と大盛り上がりです。

やがて無事、きれいに割れると拍手喝采!

第三長上苑の1階ホールには、スイカの香りが広がり夏を実感いたしました。

割れたスイカは、入居者の皆様にそれぞれの食事形態に合わせ、召し上がっていただきました。

「スイカならいくらでも食べれるよ。」「子供の時は、井戸で冷やしたのを母親が切ってくれるのが、待ち遠しくてねえ。」「夏はやっぱりスイカだねえ。」と、とても喜んでいただきました。



スイカ割り



テレビゲーム

職員が用意してくれたテレビゲームを入居者様に楽しんでいただきました。脳血管障害の後遺症で利き手の右手に少し麻痺のある方ですが、一度もやったことがないというテレビゲームのコントローラーを、職員に教わりながら懸命に操作して30分ほどゲームを楽しめました。

「できるかわからなかったけど、やってみると面白いね。いいリハビリになるね。これからも、時々やってみたい。」と仰っていただきました。

楽しみながらリハビリにもなる方法を、積極的に取り入れていきたいと考えています。

敬老会の開催

9月24日（金）に第三長上苑の敬老会兼秋祭りを行ないます。今回も昨年同様万全の感染対策を取りつつ、入居者様に楽しんでいただけるイベントにするべく、話し合いを重ねています。写真は昨年の秋祭りのものですが、今年も笑顔で締めくくれるよう取り組んでまいります。



看板の補修

第三長上苑の前に立つ第三長上苑の看板が、風雨にさらされ塗装が剥げてきました。サンダーで磨き、ペンキを塗り、見違えるほどきれいになりました。

看板はいわば施設の顔のようなものです。入居者様のご家族様、介護相談においでになる方、何気なく施設の前を通る方など、様々な人たちの目に触れます。その人たちが、看板を見て「この施設はしっかりしているんだな。」と思っただけのような印象を与えたいと考えます。外見だけでなく充実したケアを提供できる施設にしてまいります。

リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会は、主に入居者様の事故防止と防災について対策を立て実践している委員会です。

事故防止については、事例検討を行ない、再発防止策を立て、合わせて環境整備やマニュアルの見直しを行ない、研修等を通して職員に周知徹底を図っています。

防災は、非常食など防災用の備品の管理を行なって、万に備えています。その他、消火設備の実地訓練、避難誘導訓練などを行なっています。

日常的にも、危険個所の洗い出しと修理、各設備の保守も行なっています。

日常生活の事故や自然災害の被害など、入居者様の安全を守るための委員会として、その重要性がますます大きくなっています。

委員長 大地隆友

9月の行事予定

日	曜日	時間	内容
3	金	15:30	フラワーアレンジメント
7	火	16:10	働き方改革部
7	火	16:00	栄養部署会議
9	木	15:00	経口維持会議
10	金	14:00	天王病院回診
13	月	9:00	理美容
14	火	未定	坂の上 FCL 回診
14	火	16:10	職場環境改善委員会
15	水	10:00	運営推進会議
20	月	未定	体重測定
20	月	16:10	認知症ケア委員会
21	火	10:30	防災訓練
23	木	14:00	天王病院回診
23	木	10:00	自動車文庫
23	木	16:10	リスク委員会
24	金	13:30	第三秋祭り
28	火	16:10	ライフサポート委員会

編集後記

「見える星は一等星から六等星までである。一等星はあのかい星だ。六等星はほとんど見えなくらいかすかな星のことだ。だが小さく見えるけど、あれは遠くにあるからだよ。実際は一等星よりもっと何十倍も大きな星かもしれないんだ。世の中には六等星みたいな人がいくらでもいる。」

これは漫画「ブラック・ジャック」の中で手塚治虫が語った言葉です。

介護の現場で働いている職員も、ある意味で六等星なのかもしれません。しかし、職員は責任と誇りを持って、介護という仕事に取り組んでいます。決して目立つ仕事ではありませんが、なくてはならない大切な仕事です。

コロナ禍ですべての人が、我慢を強いられ大変な毎日ですが、入居者の皆様に負担をかけないように、職員一同頑張っています。

